

低圧電気取扱特別教育受講報告

フィールド科学系部門 生物生産技術班 森井 崇光

1. はじめに（目的等）

農場では溶接や電源確保のための発電機を取り扱うことがある。600V の低圧電気であっても接触、漏電といった事故が発生した場合、命に係わる重大な事故となることが考えられる。適切な知識を身につけることで事故が発生しそうな箇所を予め確認し、重大な事故を未然に防ぐことを目的とした。また、発生した場合には適切に対応できるようになることも目的とした。

2. 期間・場所

期間：令和4年11月24日から令和4年11月25日までの2日間

場所：ロイヤルパワーアップスクール広島校

3. 参加者等

学科及び実技 25 名

4. 研修内容

学科講習

1. 低圧の電気に関する基礎知識
2. 低圧の電気設備に関する基礎知識
3. 低圧用の安全作業用具に関する基礎知識
4. 低圧用の活線作業及び活線近接作業の方法
5. 関係法令

実技講習

1. 低圧電気の取扱い
2. 配線の交換

5. まとめと感想

電気は現代において必要不可欠であることから十分な知識と経験を持つ必要がある。感電は命に係わる重大な事故を引き起こすこととなる。故障箇所は適切に修繕する、事故を起こさない、電気の適切な取り扱いによって事故のない安全な業務を行えるように気を付けたい。